

- 問1 室町時代の文化と建造物について述べた次の文のうち、東山文化とその建立者に関する説明として正しいものはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 足利尊氏氏が建立した天龍寺は、後醍醐天皇の菩提を弔うために建てられたものである。 | 2. 足利義満が建立した金閣は、公家文化と武家文化が融合した北山文化の代表的な建築物である。 | 3. 足利義政が建立した銀閣は、1階に書院造を取り入れるなど、武士の生活様式と禅宗の影響が融合している。 | 4. 足利義政が建立した銀閣は、大陸との貿易による富を背景に、外壁に銀箔を貼った豪華な装飾が特徴である。 |
|---|--|--|--|
- 問2 足利義満が明（中国）との間で勘合貿易を成立させた際、外交上とった立場とその背景についての説明として正しいものはどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|-------------------------------------|---|
| 1. 明の皇帝から「日本国王」としての称号を受け、臣下の礼をとる形式で貿易を行った | 2. 特定の宗教勢力が貿易を独占するのを防ぐため、楽市・楽座の制度を適用した | 3. 日本の天皇の使節として交渉し、明の皇帝と対等の立場で国交を結んだ | 4. 幕府の役職である「征夷大將軍」の名義で、軍事同盟を前提とした条約を結んだ |
|---|--|-------------------------------------|---|
- 問3 室町時代から戦国時代にかけて広まった「下剋上」の風潮を説明する記述として、当時の社会状況をふまえた最も適切なものはどれですか。 (2018年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 家柄や身分に関わらず、個人の實力によって社会的な地位を得ようとする動きが強まった。 | 2. 天皇が政治の実権を握ることで、武士の勢力を抑え込み、貴族中心の政治を復活させた。 | 3. 幕府が各国の守護大名に対して強力な統制を行い、地方の反乱を厳しく鎮圧した。 | 4. 仏教の勢力が政治に介入し、僧兵たちが武力を持って幕府を直接支配するようになった。 |
|--|---|--|---|
- 問4 室町時代に大きな力を持っていた「座」による商売の独占は、戦国時代になると経済の活性化を妨げる障壁と見なされるようになりました。織田信長らが城下町の繁栄を目指して実施した、座の特権を廃止し自由な取引を認める政策を何といいますか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------------|----------|----------|
| 1. 十七条の憲法 | 2. 楽市令（楽市・楽座） | 3. 寛政の改革 | 4. 株仲間結成 |
|-----------|---------------|----------|----------|
- 問5 室町時代、京都や奈良などの都市部では商工業が発達し、金融業を営む勢力が大きな経済力を持つようになりました。幕府に税を納める見返りに、質を取って金を貸し付けるなどの高利貸しを営んでいた者たちの組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2019年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 両替商・蔵元 | 2. 地主・小作人 | 3. 問屋・株仲間 | 4. 土倉・酒屋 |
|-----------|-----------|-----------|----------|
- 問6 室町時代に栄えた芸能である「狂言」の特色について、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれか、選びなさい。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 禅宗の影響を受け、墨一色の濃淡で自然を表現し、武士の精神性を高める役割を果たした。 | 2. 畳や障子、床の間などを備えた住宅様式の中で、のちの日本建築の原型となった。 | 3. 和歌の上の句と下の句を複数の人々が次々に詠みつないでいくもので、武士や僧侶の交流の場となった。 | 4. 民衆の生活や感情を滑稽に表現し、笑いを通じて社会の様子を描き出す喜劇としての性格を持っていた。 |
|--|--|--|--|
- 問7 室町時代、九州北部に位置し、明や琉球、さらには東南アジア諸国との貿易において、日本側の重要な玄関口となった港町はどこか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 1. 堺 | 2. 兵庫 | 3. 坊津 | 4. 博多 |
|------|-------|-------|-------|
- 問8 「このごろ都に流行るもの」という書き出しで始まり、天皇の命令である「綸旨」を求めて人々が奔走する姿や、一夜にして成り上がる者がいる一方で没落する者がいるといった、建武の新政下での混乱した社会を風刺した史料を何と呼びますか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|---------|------------|
| 1. 二条河原落書 | 2. 十七条の憲法 | 3. 建武式目 | 4. 承久の乱の宣旨 |
|-----------|-----------|---------|------------|
- 問9 戦国時代の織田信長は、城下町の商工業を活発にするために「楽市・楽座」を実施しました。この政策が、それまでの「座」に対して及ぼした影響として正しいものはどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 座が持っていた独占的な販売権を廃止し、誰もが自由に商売を行えるようにした。 | 2. 座の特権をさらに強化し、寺社への納税額を増やして財政を安定させた。 | 3. 座を幕府の直轄組織として再編し、全国の流通網を独占的に統制した。 | 4. 座の加入資格を武士に限定し、軍事目的での物資の調達を優先させた。 |
|--|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
- 問10 14世紀から16世紀にかけて、日本や朝鮮半島、中国沿岸の広い地域で略奪や海賊行為を行っていた集団は、当時、東アジア諸国の大きな悩みのなっていました。室町時代、足利義満はこの集団と正式な貿易船を区別し、明との貿易を円滑に進めるためにある制度を導入しましたが、この集団の名称として正しいものを選びなさい。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 遣明使 | 2. 御家人 | 3. 土一揆 | 4. 倭寇 |
|--------|--------|--------|-------|
- 問11 1467年に始まった応仁の乱について述べた文として、当時の社会状況と照らし合わせて最も適切なものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 北条氏の勢力拡大に対し、足利尊氏と弟の足利直義が対立したことで、幕府を二分する大規模な武力衝突へと発展した。 | 2. 江戸幕府によるキリスト教禁止や重税に反対した農民たちが、天草四郎を首領として九州で大規模な一揆を起こした。 | 3. 將軍足利義政の継嗣問題や守護大名の対立から始まり、下の者が実力で上の者を倒す「下剋上」の風潮が広まるきっかけとなった。 | 4. 後醍醐天皇による建武の新政への不満が高まり、足利尊氏が武士の支持を集めて京都に新たな幕府を開くきっかけとなった。 |
|---|--|--|---|
- 問12 室町時代に明（中国）へ渡って本格的な技法を学び、墨の濃淡のみで自然の風景などを描き出す独自の画風を大成させた人物は誰ですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-------|-----------|
| 1. 菱川師宣 | 2. 葛飾北斎 | 3. 雪舟 | 4. 近松門左衛門 |
|---------|---------|-------|-----------|
- 問13 14世紀後半、明が民間人の海外渡航や私的な貿易を厳格に制限した「海禁」と呼ばれる政策をとった主な目的として、最も適切なものはどれか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|-----------------------------|----------------------------|-------------------------|
| 1. 鉄砲やキリスト教などの新技術が流入するのを防ぐため | 2. オランダや清以外の船舶の来航を完全に禁止するため | 3. キリスト教の布教を制限して幕府の権威を守るため | 4. 倭寇の活動を鎮圧して国内の安定を図るため |
|------------------------------|-----------------------------|----------------------------|-------------------------|
- 問14 室町時代に発達した、墨一色の濃淡で自然の風景などを表現する絵画の技法と、その技法を用いて「秋冬山水図」などの作品を残し、日本の芸術に大きな影響を与えた人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|--------------|-----------------|
| 1. 唐三彩 - 鑑真 | 2. 水墨画 - 雪舟 | 3. 大和絵 - 紀貫之 | 4. 浮世絵 - 近松門左衛門 |
|-------------|-------------|--------------|-----------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 足利義政が建立した銀閣は、1階に書院造を取り入れるなど、武士の生活様式と禅宗の影響が融合している。	足利義政によって営まれた東山文化は、華やかな北山文化に対して、わび・さびを感じさせる落ち着いた美しさを追求しました。銀閣の1階（東求堂など）に用いられた書院造は、床の間や違い棚を持つ様式で、現代の和室の原型となりました。なお、銀閣には実際に銀箔が貼られた形跡はありません。
問2	答え 1 明の皇帝から「日本国王」としての称号を受け、臣下の礼をとる形式で貿易を行った	足利義満は、明を中心とした当時の国際秩序（冊封体制）に加わることで、莫大な利益をもたらす貿易の権利を得ようとしてしました。そのため、明の皇帝から「日本国王」として認められる形（臣下の礼）をとり、正式な外交関係を樹立しました。これは日本の主権を認めさせつつ、実利をとるという義満の現実的な外交政策によるものです。
問3	答え 1 家柄や身分に関わらず、個人の實力によって社会的な地位を得ようとする動きが強まった。	応仁の乱以降、室町幕府の支配力が弱まると、各地で實力のある者が勢力を拡大しました。この時期は「戦国時代」と呼ばれ、家柄よりも個人の軍事力や政治的手腕が重視される實力主義の社会へと変化していきました。このような傾向を「下剋上」と呼びます。
問4	答え 2 楽市令（楽市・楽座）	織田信長は城下町の経済を活性化させるため、従来の「座」による販売の独占権や特権を否定しました。これにより、座に属さない新しい商人の参入を促し、市場での自由な取引を認める「楽市・楽座」の政策を推し進めました。これは旧来の特権階級である寺社などの経済基盤を弱める狙いもありました。
問5	答え 4 土倉・酒屋	室町時代には貨幣経済の浸透に伴い、質屋のような業務を行う「土倉」や、酒造業を営みながら豊富な資金を貸し付ける「酒屋」といった金融業者が台頭しました。室町幕府は彼らに「倉役」や「酒屋役」という税を課すことで、幕府の重要な財源としました。
問6	答え 4 民衆の生活や感情を滑稽に表現し、笑いを通じて社会の様子を描き出す喜劇としての性格を持っていた。	狂言は能の幕間（合間）に演じられる演劇で、当時の人々が抱いていた本音や生活の知恵、社会の矛盾などを笑いに変えて表現しました。室町文化が、足利義満の時代の「北山文化」や義政の時代の「東山文化」を経て、貴族や武士の文化と民衆の文化が融合していった過程を象徴する芸能の一つです。
問7	答え 4 博多	九州北部の沿岸に位置するこの都市は、地理的に大陸に近いため、古くから外交や貿易の窓口として機能した。室町時代には日明貿易（勘合貿易）の主要な拠点となり、大内氏などの守護大名や有力な商人の保護を受けて、国際的な商業都市として繁栄した。
問8	答え 1 二条河原落書	二条河原落書は、1334年に京都の二条河原に立てられた揭示物（落書）の翻刻文として伝わっている史料です。後醍醐天皇の政治（建武の新政）が理想とは裏腹に、現実には混乱を極めていたことを伝えています。「綸旨（りんじ）」とは天皇の意思を伝える文書のこと、これが乱発されたことが混乱の一因となりました。
問9	答え 1 座が持っていた独占的な販売権を廃止し、誰もが自由に商売を行えるようにした。	織田信長は、城下町の繁栄と自身の権力強化を目指し、旧来の座の特権（独占権）や寺社による支配を否定する「楽市・楽座」を実施しました。これにより、特定の組織に属さない新しい商人も自由に商売ができるようになり、市場が活性化して領国内の経済が発展しました。
問10	答え 4 倭寇	14世紀から16世紀にかけて活動した海賊集団は「倭寇」と呼ばれます。前期倭寇は南北朝時代の混乱に乗じて朝鮮半島などで活動し、後期倭寇は16世紀に中国人主導で密貿易などを行いました。室町幕府の3代将軍である足利義満は、明からの要求に応じて倭寇を取り締まるとともに、海賊と正式な貿易船を識別するために「勘合（勘合符）」という割印を用いた「勘合貿易」を開始しました。
問11	答え 3 将軍足利義政の継嗣問題や守護大名の対立から始まり、下の者が實力で上の者を倒す「下剋上」の風潮が広まるきっかけとなった。	応仁の乱は室町幕府の衰退を決定づけた出来事です。8代将軍・足利義政の後継者争いに加え、細川氏（東軍）と山名氏（西軍）という有力な守護大名の権力争いが重なり、11年にわたる戦乱となりました。この戦いにより幕府の権威は失墜し、身分の低い者が實力で上位の者を圧倒する「下剋上」の動きが加速し、戦国時代へと移行する大きな転換点となりました。
問12	答え 3 雪舟	室町時代には禅宗の影響を強く受けた文化が発展しました。雪舟は当時の中国である明に渡って水墨画の技法を学び、帰国後に日本の自然に合わせた独自のスタイルを確立しました。葛飾北斎や菱川師宣は江戸時代の浮世絵師であり、近松門左衛門は人形浄瑠璃の脚本家です。
問13	答え 4 倭寇の活動を鎮圧して国内の安定を図るため	明は建国当初、国内の秩序を安定させる必要がありました。当時、東シナ海などの沿岸部では倭寇（日本人を含む海賊集団）が活発に活動しており、これを取り締まるとともに、民間人が勝手に海外勢力と結びつくのを防ぐために海外渡航や私的な貿易を禁止しました。これを海禁と呼びます。
問14	答え 2 水墨画 - 雪舟	室町時代には、禅宗の影響を受けて墨の濃淡のみで表現する水墨画が好まれました。雪舟は明に渡って本格的な技法を学び、日本の水墨画を大成させた人物として知られています。紀貫之は平安時代の歌人、近松門左衛門は江戸時代の人形浄瑠璃の作者、鑑真は奈良時代に仏教を伝えた僧侶であり、時代や分野が異なります。